

第 123 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 4 月 22 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員の氏名 児玉 昭義 木村 敏彦 大橋 民男
欠席委員の氏名 島田 貴司 小島 隆雄 堂園 孝美
放送事業者側出席 須藤 一郎
4. 議題
 1. 番組編成に関して
 2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容
議 長：児玉 昭義、出欠席者の確認。
本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。
会社側委員：4 月の番組改編に際して「シーサイドステーション」及び「シーサイドカフェ」のパーソナリティが交代しました。
委 員：朝生帯のパーソナリティが交代されて番組の内容は基本的に継続されておりますが、音楽の選曲など、鎌倉エフエムのカラーも継続された方が良いと思います。
会社側委員：各曜日担当の新任パーソナリティの個性プラス鎌倉エフエムの個性にも留意しながら番組の向上に努めます。行政情報や防犯防災に関する情報などは専任の担当者がコーディネートしております。
委 員：地域に密着した様々な情報を伝えるのはコミュニティエフエム放送の重要なミッションですから専任の担当者配備を歓迎します。
会社側委員：「クラシックへの誘い」の担当者は内田善昭さんから児玉昭義さんに交代されました。「ピュア・サウンド・ノウ・ミュージック」は大橋伸太郎さんに引き継いでいただきました。
委 員：両番組の新たなスタートを歓迎します。地域の音楽家が参画した鎌倉ならではの番組に音楽と音に纏わる多様な視点から構成される音と音楽の純な話題が楽しみです。
会社側委員：地域の多くの方々が参画できる番組や地域の様々な情報発信のツールとしての立ち位置を再認識して地域の皆様に愛される番組創りに邁進します。
委 員：4 月改変のスタートはまずまずだと思います。
会社側委員：事務局の体制も補強されました。技術統括の北村公宏が事務長に就任して各番組との技術的なサポートに加え事務局としての連携も担っております。本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日 ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し
以 上